
友達以上、恋人くらい

八月 登

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

友達以上、恋人くらい

【Nコード】

N9106Y

【作者名】

八月 登

【あらすじ】

思春期男子の恋愛話。

実話(?)を元にしたフィクションです。

プロローグ A（前書き）

この小説は、腐向けです。
実際のクラスメイト、団体、などなどとは関係ありません。

プロローグ A

俺と梅は、小学校が一緒だった。
でも、小学校から仲がよかったわけじゃない。
仲良くなったのは中学にあがってからだ。

中学に入って、同じクラスになり、それから部活も同じになった。
席も近かったから、すぐよくつるむようになった。

梅は、とにかく変なやつだった。
自信家で、毒舌で、そのくせ子供のように無邪気で、寂しがり屋だった。

中二にあがってもよくつるんだし、休日もよく一緒に出かけた。
隣の席の子に、よく「付き合ってたんの？」とからかわれたりもした。
「そんなわけないだろ」と否定するも、自分でもよく分からなくなっていた。

俺は、梅が好きなんだろうか？

でも、男同士で恋愛なんて考えられない。
隣の席の子は男同士の恋愛を時折絵に描いてるのは見るが、それはファンタジーだと思っていた。

だから、自分に「梅とは友達なんだ。」と言い聞かせてきた。
だって、いつか気持ちが抑えきれなくなって、梅を傷つけるのが怖かったから。

ブログ A（後書き）

実際にいる友達をモデルに書いてます。

「俺」は次のブログで名前が出てきます（もちろん、本名じゃないですよ）。

プロローグ B（前書き）

Bです。2こめです。

プロローグ B

俺と優太は、小学校が一緒だった。
でも、小学校から仲がよかったわけじゃない。
仲良くなったのは中学にあがってからだ。

中学に入って、同じクラスになり、それから部活も同じになった。
席も近かったから、すぐよくつるむようになった。

優太は、とにかく変なやつだった。
オタクで、ロリコンで、そのくせ優しくて。

中二にあがってもよくつるんだし、休日もよく一緒に出かけた。
「二人は付き合ってるの?」とクラスメイトによく聞かれた。
「そんなわけないだろ」と否定するも、自分でもよく分からなくなっていた。

俺は、優太が好きなんだろうか?

でも、男同士で恋愛なんて考えられない。
クラスメイトの女子が男同士の恋愛なんか見てはしゃいでるのを見てたけど、それは全部ファンタジーだと思ってた。

だから、自分に「優太とは友達なんだ。」と言い聞かせてきた。
だって、いつか気持ちを抑えきれなくなって、きもちわるがられて離れられるのがいやだったから。

プロローグ B（後書き）

Aと文章はほぼ同じです。

手抜きじゃありません、しよつです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9106y/>

友達以上、恋人くらい

2011年11月27日10時03分発行